

**なんでも相談会 &
インボイス制度個別相談会**

要予約 TEL 03-3986-2471

11月のなんでも相談会は、税務・経営相談が26日(水)、法律相談が27日(木)です。ともに13時30分～15時30分まで(予約は15時まで)。30分刻みで要予約。顧問税理士、弁護士が相談に応じます。インボイス制度個別相談会は19日(水)、26日(水)10時～16時。45分刻みで要予約。

けんせつ北部

(購読料は組合費の中に含まれています。)

定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋 5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日

分会目標達成を祝う椎名町分会の仲間



組合員訪問をする椎名町分会の仲間

**秋の仲間づくり
運動報告****昼の拡大行動開始****同時に工夫しながらの****夜間訪問行動で確実な手ごたえ**豊島区主催
防災フェスに参加

今年の拡大は春の段階から苦戦が続いていました。訪問しても会えない、夜間の訪問が防犯上のリスクになっている。そんな声を耳にしていたこともあり、今回は少し今までと変える必要があるのではないかと感じていました。

拡大月間が始まり、みんなで話し合ったところ、昼のほうの負担が少なく、事業所は会える可能性があるのでは、となり昼間の行動を提起しました。本部の宮内書記にも協力し

てもらい、リストをもとに訪問。普段顔を合わせることができなかった仲間と話をすることに成功し、組合をアピールすることができました。10月も昼間の行動を提起し、訪問行動を強めていきます。

夜間行動では、前日に訪問先と話す内容を決めておき、普段より早い時間に訪問しました。結果的に組合員の獲得はできなかったものの、2人の女性の会会員の加入を勝ち取りました。

この訪問の特徴は、1組当たりの件数を抑えることでそれぞれの訪問先でいろんな話ができたこと、内容を決めてから訪問したので特定のことを深く話せたことです。

情勢や防犯面で夜間の訪問行動がしにくくなっていますが、計画して早めに動くことでしっかり声を聴くことができました。昼間の行動と合わせて、今後もつながりを強めていきます。

(田中承宏 椎名町分会教宣部長)

**チームNAMAZUで
防災意識を喚起**

10月13日(月・祝)、としまみどりの防災公園(イケ・サンパーク)にて、豊島区主催の「としまDOKI☆DOKI防災フェス」が開催され、豊島支部からはチームNAMAZU会員を中心に6名が参加しました。無料住宅相談や家具転倒防止金具補助制度の案内、在来工法の構造模型展示などを通じて、防災と住まいの大切さを区民の皆さんに伝えました。

子どもたちに風船を配布したことで多くの親子連れが足を止め、構造模型にも興味を持ってくれました。子どもたちはもとより、大人の方からもさまざまな質問が寄せられ、防災への関心の高まりを実感できました。また、住宅相談が実際に仕事につながる場面もあり、有意義な活動となりました。豊島支部のブースには豊島区長をはじめ、多くの議員の方々も立ち寄り、一日を通じて防災の大切さを共有することができました。

**分会
対抗****ソフトボール大会**

10月5日(日)、和光スポーツアイランドにて全体80人、上池本町分会からは12人の参加でした。

前日の雨の為、グラウンドが濡れ朝は涼しく、9時開会式後、プレイボールで始まりました。天気も10時頃には晴れてきて、日焼けをするほど熱くなってきました。

2面のグラウンドで始まり、上池本町分会の1回戦はかなめ分会との対戦で勝利しました。2回戦は南池袋分会と池袋分会の合同チームと対戦し、上池本町分会が勝ち進み、決勝戦でさくら分会と対戦をしました。残念ながらさくら分会のパワーに圧倒されて負けてしまいましたが、上池本町分会の皆さんも、打っては走り頑張りました。その日の午後6時より、池



袋東口パルコ屋上でコリアンBBQパルコビアガーデンで中間決起集会を行いました。分会ごとテーブルに着き、料理とアルコール、ドリンクで盛り上がりました。上池本町分会は準優勝の賞を頂きました。

(大嶋清子 上池袋本町分会教宣部長)

住宅リフォームコンテストで 広瀬氏が優秀賞

全建総連と加盟組合が母体となる3つのリフォーム事業者団体(全リ協・RECACO・住推協)は、地域に根ざした優良リフォーム事業者を組織しており、その活動を広く内外に発信するため、共同事業として「住宅リフォームコンテスト」を毎年開催しています。第3回目となる今回は、全国から37件の応募が寄せられ、厳正な審査を経て受賞作品が決定しました。受賞作品はいずれも、地域に密着したリフォーム事業者として施主の要望に丁寧に応え、独自の工夫と高い技術力を活かしたもののばかりです。

東京土建豊島支部上池袋本町分会

所属の広瀬達雄さんが、「住まいと暮らしの改善リフォーム部門」で優秀賞に選ばれました。同氏は、2012年に建設産業の現場の第一線で活躍する方の中から、特に優秀な技能・技術を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をしている方を対象として表彰する「優秀施工者国土交通大臣顕彰」を授与された経歴を持つ、(有)建築工房ひろせの代表取締役です。豊島支部では2015年から2019まで執行委員長を務めた経歴を持ち、現豊島支部住宅センターの会長です。



築40年以上経過した住宅の老朽化した設備更新と冬の寒さ対策を中心としたリフォームを実施。一人暮らしとなった施主が、親から受け継いだ住まいを大切にしたいと、最小限のコストで快適性を改善したいとの希望。特にキッチン・浴室・トイレの段差解消と寒さ対策、収納改善、温かみのある空間づくり。

本部青年部イベント

「フットサル交流会」



10月12日(日)、調布のミズノフットサルプラザにて、本部青年部主催のフットサル交流会が開催されました。当日は全都から70名を超える青年部員が集まり、秋晴れの中、爽やかな汗を流しながら親睦を深めました。

豊島支部からも3名が参加し、他支部の仲間たちとチームを組んで試合に臨みました。笑顔と声援が飛び交う中、真剣勝負あり、笑いありの熱戦が繰り広げられ、会場は終始活気にあふれていました。

豊島支部が所属する合同チームは、経験者が集まる上級者リーグに出場し、見事3位入賞を果たしました。このイベントを通じて、普段はなかなか交流の機会がない他支部の青年部員とつながりを持つことができ、大変有意義な時間となりました。

マイナンバー制度反対連絡会総会

マイナンバー利用拡大に警鐘



8月29日、全労連会館でマイナンバー制度反対連絡会主催による学習会と総会が開催されました。全労連や建設・商工などの団体から全体で120人以上の仲間が参加し、マイナ保険証一本化に反対する声を挙げました。1部は、共通番号にならないネットの原田富治さんが「マイナンバー制度はどのように変わろうとしているのか?」をテーマに講演しました。政府は、当初導入の理由として3つの基本理念を掲げました。社会保障、税、災害対策の3分野の利用促進を図るためと。しかし、時の経過と共に制度の中身がだいぶ違ってきました。2023年、番号法が大改悪され3分野以外への利用拡大が進められています。ルール違反の改正案で、複雑化する法的規制無き個人情報の収集・紐付けを行い、国民を縛り監視社会を作ることが政府の最大の狙いであると原田さんは警鐘を鳴らします。このような状態でマイナンバーの利用が拡大していくことに、強い疑念と不安を抱いています。

保険証の復活を

第二部は総会、全労連の副議長の石川敏明さんが議案を提案。マイナー本化の押し売りで事務手続きが煩雑し混乱が相次ぎ、マイナ保険証の利用率が伸びておらず、政府のもくろみは破綻したと強調しました。保険証残せの声が増しに高まり、政府は余儀なく、マイナ保険証を持っていない人には「資格確認書」を、持っている人には「資格情報のお知らせ」を送付しました。保険証廃止後の方針変更は、明らかに保険証廃止が誤りであったことを政府が自ら認めたようなものです。

これからも引き続き、保険証の復活と、マイナ保険証のひも付け解除の促進を周知する取り組みを進めていくことを確認しました。会場からも4人の方から補強発言があり、改めてマイナ保険証一本化に反対する国民的世論の大きな広がりを実感しました。

間辺美恵子通信員(南池袋)